

平成27年度 ニシン漁獲物調査速報(2)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

1月23日に小樽市漁業協同組合に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1) この日の漁獲量は2.6トンと、湾奥では今期初めてまとまった水揚げとなりました。型としては①番手(特特大)が1.7トンと最も多く平均体重は399g(13尾入)と非常に大型で立派なニシンで構成されていました。今期は1月中旬まで湾沖の中層(水深50~100m)水温が高かった(8~10℃)と推定されており、これによりニシンの湾奥への回遊が昨年より大幅に遅くなったとみていますが、今期主体とみる4年魚が出てきたことから本体が本格的に湾内に入ってきた状況と考えられます。

2. メスの完熟率(表1)

測定した雌個体のほとんどが完熟状態でした。生理的には産卵を開始できる状態にありますが、本日の小樽海域の産卵場付近の底水温は3.6℃(5m水深)と低く、また今後も海況が不安定になる予報であることから、すぐに産卵するかどうかは微妙な情勢です。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長32cmにモードのある7年魚(2009年級)主体の大型魚と、28cmモードの4年魚(2012年級)の2群構成となっています。概ね漁期前予報とおりの組成であり序盤であることから大型群の割合が高くなっていますが、やがて②番手、③番手と主体が移っていく見込みです。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量(23出荷分)	1,680.00	765.00	10.00	105.00	2,560.0
漁獲尾数	4,212	2,631	38		6,882
測定尾数	13	18	21		52
測定尾数(精密)	13	18	21		52
平均尾叉長(mm)	315	288	281		304.6
平均体重(g)	399	291	261		356.7
雌の比率	0.31	0.50	0.38		—
完熟率*	1.00	1.00	0.88		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

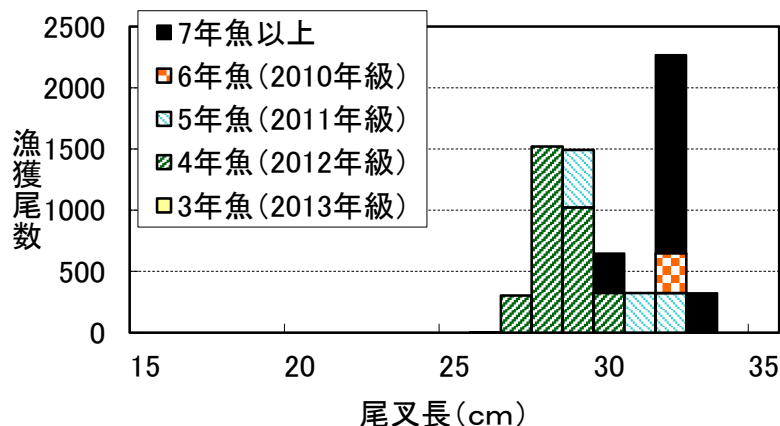


図1 2016年1月23日小樽海域 年齢別尾叉長組成